

# 帯広支会の報告

帯広支会 東 洋

帯広では偶数月に患者会を行っています。2/21 と 4/18 に会合を持ちました。2月では、直近のトピックスを盛り込んだ 14 ページの冊子を作り、プログラム・資料として配布、川口有美子さんの新著「末期を超えて」（青土社）に触れたり、20代で ALS を発症したジェイソン・ベッカーが自身の生活の映画化について受けたインタビューを探してきて転載致しました。また、北海道新聞に 2 週にわたって北見・渡部さんが掲載された記事も別添で配布いたしました。

4 月にはその CIL 北見の渡部さんにお越しただけ、プロジェクトでの映像を織り交ぜながら自らの生活を紹介していただきました。十勝・帯広でも大いに参考にさせていただきます！

プログラムは 13P の冊子として作成し、様々な制度を組み合わせ生活をしている全国の方々を多く紹介する内容となりました。

このプログラムを基に、会合でのやり取りを加えた「帯広支会だより」という冊子を、参加できない管内の患者さんへ保健所・保健師さんの手を経て配布してもらっています。帯広は昨年患者会が発足したばかりで、患者同士や支援者が複数集まり話す機会があまり有りませんでした。今後は密に連携を図っていけるように環境を整えていくつもりです。